

Searching PAJ

1/1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-296075
 (43)Date of publication of application : 10.11.1995

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G07G 1/12

(21)Application number : 06-091038

(71)Applicant : HITACHI LTD
HITACHI COMPUT ENG CORP LTD

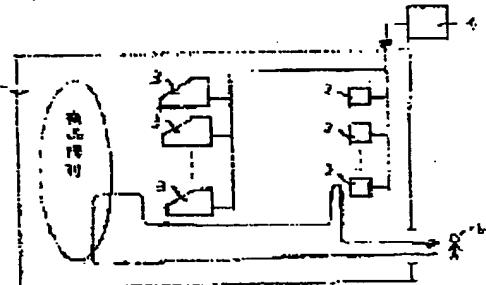
(22)Date of filing : 28.04.1994

(72)Inventor : KASHIKI HIRONORI
ISHII TAKAYOSHI

(54) COMMODITY SUBSCRIPTION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To register a commodity a purchaser regularly purchases at a store such as a supermarket to a specified customer card as a regularly purchased commodity.
CONSTITUTION: Commodity information of a commodity reset by a POS terminal equipment 3 is managed by the by-customer file of a high-order device 4 so that a commodity which is purchased over the number of times specified in advance is registered in the customer card possessed by a customer 6 as the candidate of a subscribed commodity. A subscription register device 2 reads subscribed commodity candidate data from the customer card and displays it so as to facilitate subscription register. Consequently, the purchaser can execute subscription register by easily selecting a commodity he/she likes. Besides, the commodity purchased regularly can automatically be registered as a regularly purchased commodity. labor and time for selecting a commodity for register can be saved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-296075

(13) 公開日 平成7年(1995)11月10日

(51) Int. C1. 6	識別記号	序内整理番号	F 1	技術表示箇所
G 06 F 17/60				
G 07 G 1/12	3 6 1 Z			
			G 06 F 15/21	3 1 0 Z

審査請求	未請求	請求項の数 1	O L	(全 5 頁)
------	-----	---------	-----	---------

(21) 出願番号	特願平6-91038	(71) 出願人	000005108 株式会社日立製作所 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
(22) 出願日	平成6年(1994)4月28日	(71) 出願人	000233011 日立コンピュータエンジニアリング株式会社 神奈川県秦野市堀山下1番地
		(72) 発明者	樋木 宏典 神奈川県秦野市堀山下1番地 日立コンピュータエンジニアリング株式会社内
		(72) 発明者	石井 孝好 神奈川県海老名市下今泉810番地 株式会社日立製作所オフィスシステム事業部内
		(74) 代理人	弁理士 小川 勝男

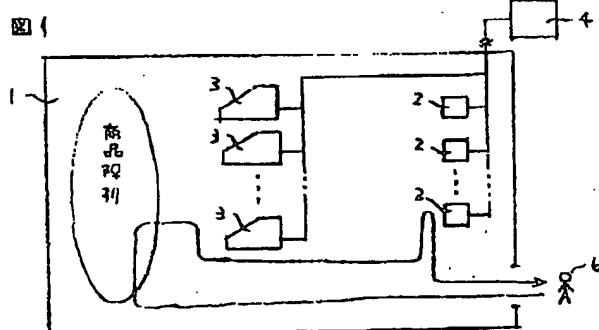
(54) 【発明の名称】商品予約システム

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】スーパー・マーケット等のストアにおいて購買者が定期的に購入する商品を、定期購入商品として、特定顧客カードに登録する。

【構成】POS端末装置3で清算を行った商品はその商品情報を上位装置4の顧客別ファイル4.1で管理し、あらかじめ定められた回数以上購入した商品は予約商品候補として、顧客6の所有する顧客カードに登録する。予約登録装置2は、顧客カードから予約商品候補データを読み出し予約登録を容易に行えるよう表示する。

【効果】購買者は自分の嗜好にあった商品を容易に選択して、予約登録をすることができるようになる。また、定期的に購入している商品は、自動的に定期購入商品として登録することができるため、登録を行うために商品を選択する手間を省くことができる。



(3)

特開平7-296075

3

をPOS端末装置3が配置され店員が操作している清算カウンターまで持つて行き、支払を行う。一方、予約販売システムを利用したい客は、あらかじめ作成された特定顧客カードを利用し購入を行うことになる。

【0014】図2は、その特定顧客カードの内部における記憶構造を概念的に示すものである。

【0015】図中において、5の特定顧客カードは、4つの記憶部をもっている。51の第1記憶部には最近の清算処理における商品データが格納され、52の第2記憶部には予約購入を行う商品データが格納され、53の第3記憶部には定期的に購入される商品データが格納される。また54の第4記憶部にはカードを所有する者の個人情報データ、例えば予約販売システムの加入者である会員番号が格納されている。

【0016】次に、この特定顧客カード5を用いた予約購入システムについて説明する。

【0017】特定顧客カード5を用い商品を予約購入しようとする客は、店舗1にある予約登録装置2を使用して商品の予約登録を行う。

【0018】予約登録装置2は図3に示すように、特定顧客カード5から読み出された予約商品の情報を表示するとともに、予約する商品の選択や予約登録の確認、取消等を行うことが可能な透明のタッチパネル等からなる表示入力部21と、取引を確認するレシートを出力する印字出力部22と、セットされた特定顧客カード5のデータを読み書きするカードリーダ・ライタ部23がある。

【0019】顧客が、自分の所持する顧客カード5を、この予約登録装置2のカードリーダ・ライタ部23にセットすると、挿入された特定顧客カード5からそれぞれの記憶部に格納された情報が読み出され、予約登録装置2の表示入力部22に表示される。

【0020】顧客は定められた入力ガイダンスに従い、予約商品の登録、購入予定日の指定等を表示入力部22にて行う。入力された予約情報は、予約登録の確認のち顧客カード5に登録されるとともに、印字出力部22にて予約確認のためのレシートが印字出力される。

【0021】また、予約登録装置2で予約登録された予約情報は上位装置4に送られ、加入者の会員番号毎に設けられた顧客別ファイル41にその予約情報が格納され、予約商品の発注処理を行う。そして購入予定日に来店した顧客は顧客カードを提示し、予約しておいた商品を速やかにしかも確実に購入することができる。

【0022】では、本発明の最も特徴とする予約購入システムについて、更に詳細に説明する。

【0023】例えば、図1における購買者6は来店時に購入する商品を持って、その商品の清算をするべくPOS端末装置3へ行く。精算の際に、図3におけるPOS端末装置3のカードリーダ・ライタ部32で顧客カード5を読み取り、前回の来店時に予約していた商品があれ

4

ば、あわせて清算を済ませる。このときPOS端末装置3では、その清算時における購入品目のデータを上位装置4に伝送する。

【0024】上位装置4では、顧客別ファイル41に設けられた会員番号に対応する記憶領域において、その購入品目のデータを管理しており、その顧客の予約販売システムの利用状況、つまり以前にどのような商品をどれだけ購入したかが記憶されている。そして上位装置4は、その顧客別ファイル41にて管理された顧客別の購入商品の情報をもとに次回の予約商品を推定する。

【0025】例えば、以前来店したときに購入した商品と同じ商品を、今回の来店時にも購入するように、過去に複数回同じものを購入している場合、上位装置4ではあらかじめ定められた回数以上購入している商品に関する商品情報を、顧客別ファイル41からピックアップしPOS端末装置3に転送する。POS端末装置3では、特定顧客カード5の第2記憶部52に、次回も購入する可能性の高い商品、つまり予約購入商品の候補として、その商品情報を書き込む。

【0026】この特定顧客カードを、予約登録装置2にセットすると、表示入力部21に第2記憶部52にある予約候補の商品情報を読み出され表示される。顧客は、表示部上に表示されている予約が行われる可能性の高い、予約購入商品候補から選択することにより、簡単に予約登録を行うことができ、予約する商品を店内にある全ての商品の中から検索する手間を省くことができる。

【0027】また、前回の来店時に購入した商品との商品を今回も購入するように、複数回連続して商品を購入する場合、上位装置4ではその商品に関する商品情報を顧客別ファイル41からPOS端末装置3に転送する。POS端末装置3では特定顧客カード5の第3記憶部に、定期購入の候補商品として登録される。

【0028】この顧客カードを、予約登録装置2にセットすると、表示入力部21には第3記憶部にある定期購入の候補の商品情報を読み出され表示される。予約登録を行う顧客は、この表示入力部21に表示されている定期購入商品候補の中から定期購入したい商品を選択し、登録することで、簡単に定期的購入を登録することができるようになる。

【0029】このように、あらかじめ定められた回数以上購入した商品は、次回の来店時にも購入する可能性の高い商品、予約候補商品として特定顧客カードに記憶する。また、あらかじめ定められた回数以上連続して購入している商品は、定期的に購入する可能性の高い商品、いわゆる定期購入候補商品として特定顧客カードに記憶する。

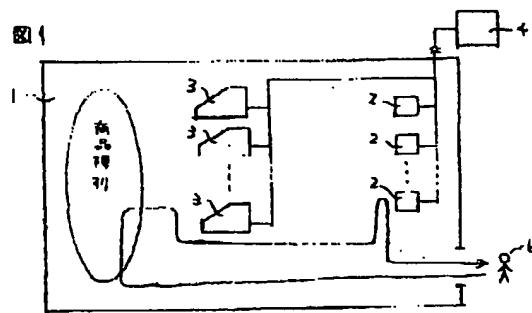
【0030】顧客は、予約登録装置2に自分の特定顧客カード5をセットし、表示された予約候補商品あるいは定期購入候補商品の中から選択する事で、容易に予約購入や定期購入を行う商品を登録することができるよう

50

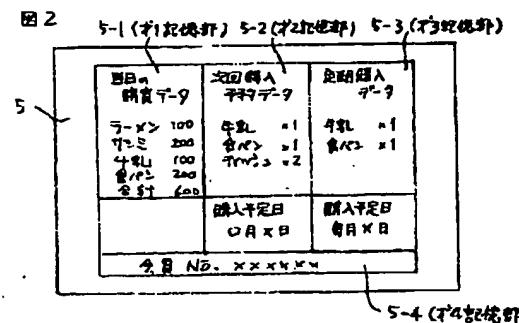
(5)

特開平7-296075

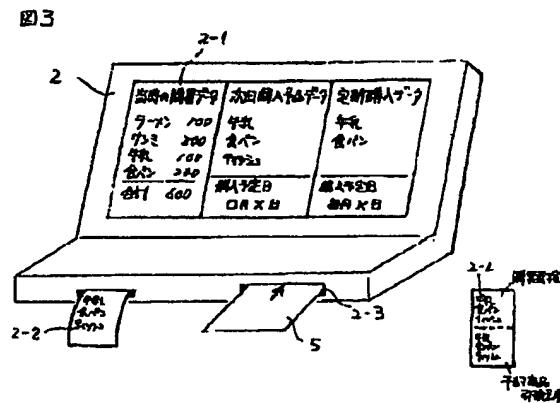
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

